

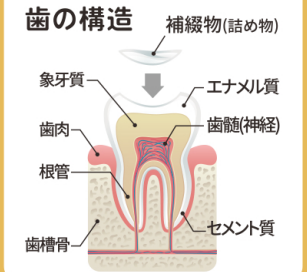
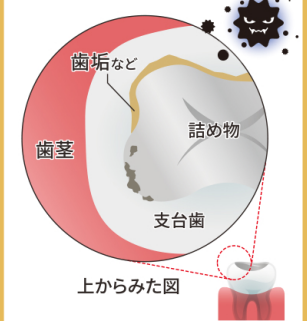
詰め物の種類

詰め物には保険適用の材料と保険適用外の材料があります。主な違いとしては「費用」「見た目」「強度」「健康への影響」です。もちろん保険診療のほうが治療費を安く抑えられます。しかし長い目で見た場合、費用や体への負担を考慮すると、保険診療が必ずしもベストな選択であるとは言い切れません。当院では、患者さまにとってベストな選択ができるよう、治療や処置に関する様々なメリット・デメリットをお伝えします。

金属不使用 (メタルフリー)	 保険適用外	 保険適用外	 保険適用	 保険適用
	ジルコニア	e-max	CAD/CAM	レジン
適応歯	すべての歯	すべての歯	白歯	すべての歯(条件あり)
補綴物	ジルコニア	ニケイ酸リチウムガラス	セラミックと樹脂(プラスチックと同様)	樹脂
審美性	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
耐久性	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
2次むしば	なりにくい	なりにくい	なりやすい	なりやすい
金属アレルギー	なし	なし	なし	なし
費用	保険適用外	¥49,500	-	¥50,000
	保険適用	-	約¥4,000	約¥1,500
特徴	金属と同程度の強度があり、大白歯におススメです。経年による変色はありません。	透明感があり、小白歯におススメです。経年による変色はありません。	⚠️ 表面に傷がつきやすく、ざらつきに汚れが付着するため、2次むしばのリスクが高まります。経年と共に黄色く変色します。	⚠️ 表面に傷がつきやすく、ざらつきに汚れが付着するため、2次むしばのリスクが高まります。経年と共に黄色く変色します。
※ジルコニア、e-max、CAD/CAMは、厚みが必要なため削除量が大きくなり、知覚過敏や抜髄(神経を取る)が必要になる場合があります				

2次むしばのリスク

金属を使用した詰め物は、詰め物と歯の継ぎ目に、歯垢などが溜まりやすく、2次むしばのリスクが高くなります。



金属使用	 保険適用外	 保険適用
	ゴールド	銀歯
適応歯	白歯	すべての歯
補綴物	金合金(18K)	金・銀・パラジウム合金
審美性	☆☆☆☆	☆☆☆☆
耐久性	☆☆☆☆	☆☆☆☆
2次むしば	なりにくい	なりやすい
金属アレルギー	ほぼなし	可能性あり
費用	保険適用外	¥55,000~(金価格により変動あり)
	保険適用	-
特徴	歯へのなじみが最強です。目立たない白歯におススメです。	⚠️ 汚れが付着するため、2次むしばのリスクが高まります。経年と共に黒く変色する場合があります。

むしばの進行と治療

むしばが進行するほど歯を削る範囲が大きく、治療費も高額となります

C0 要観察歯

むしば細菌(ミュータンス歯)による脱灰が始まります。歯みがきや生活習慣の改善で再石灰化も期待できます。

治療方法
・フッ素塗布
・正しい歯みがき方法
・生活習慣の改善

C1 エナメル質侵食

表面のエナメル質が溶けて穴があいた状態です。しみたり、痛みなどの自覚症状はありません。

治療方法
歯を削り、レジン修復をします。(樹脂/白)

C2 象牙質侵食

むしばが象牙質まで進行している状態です。痛みを感じたり、冷たいものや甘いものがしみたりします。

治療方法
歯を削ったあと、型取りをし、詰め物(金属orセラミック)をします。

C3 歯髄侵食

歯髄(神経と血管)まで進行している状態です。激しい痛みがあり、根管治療が必要となります。

治療方法
歯を削り神経も取り除きます。支台歯を作り、型取りをしたら被せ物で修復します。

C4 歯冠崩壊

歯冠が溶け歯根だけになった状態です。神経が死んでしまい痛みは感じませんが、むしば菌が死んだわけではないので、放置すると骨髄炎を引き起こす可能性があります。

治療方法
抜歯をし、義歯(着脱式)orブリッジ(固定式)orインプラントで修復します。

※当院の「かぶせ物の治療」パンフレットをご覧ください